

【短報】北海道初記録のクビボソハムシ属3種

北海道におけるハムシ科クビボソハムシ属は、ルリクビボソハムシ、キバラルリクビボソハムシ、スゲクビボソハムシ、セアカクビボソハムシの4種が記録されている(木元, 1984; 木野田, 2006)。

筆者らは、これまでに北海道から記録のなかった以下の3種を得ているので、古い記録も含むがここに報告する。

1. トホシクビボソハムシ *Lema decempunctata* Gebler

6exs., 北海道上磯郡上磯町(現, 北斗市) 三好, 31. VII. 1994, 柏崎採集・保管。

採集個体は全て、畑の脇に生育していたナス科 Solanaceae のクコ *Lycium chinense* Mill. から得られた。

2. アカクビボソハムシ *L. diversa* Baly (図1)

2exs., 北海道松前郡松前町朝日, 30. VII. 1995, 柏崎採集・保管。

林縁に生育していたツユクサ科 Commelinaceae のツユクサ *Commelina communis* L. の葉上から得られた。



図1. アカクビボソハムシ

3. ヤマイモハムシ *L. honorata* Baly

4exs., 北海道檜山郡厚沢部町字上

里, 6. VII. 2014; 5exs., 北海道檜山郡江差町鹹川町, 20. VII. 2014, いずれも野村採集・堀繁久保管。

採集個体は全て、林縁に生育していたヤマノイモ科 Dioscoreaceae のヤマノイモ *Dioscorea japonica* Thunb. から得られた。

末筆ながら、種々ご教示いただいた北海道博物館の堀繁久学芸員と札幌市の宮田達美氏に、厚くお礼申し上げます。

引用文献

- 木元新作, 1984. ハムシ科. 林 匡夫・森本 桂・木元新作編著, 原色日本甲虫図鑑 (IV). pp. 147-222 (pls. 29-43). 保育社, 大阪.
木野田君公, 2006. ハムシ科. 札幌の昆虫. pp. 164-171. 北海道大学出版会, 札幌.

(野村昭英 043-1113 檜山郡厚沢部町新町 181-37)

(柏崎 昭 001-0031 札幌市北区北 31 条西 6 丁目 2-10)

【短報】アヤムネスジタマムシの与路島からの記録

奄美群島に属する与路島は、加計呂麻島や請島と共に奄美大島の南方に位置する面積 9.35km² の小島である。筆者らの知る限り、これまでにこの島からのタマムシ科甲虫の記録はない。筆者の一人である吉武は、与路島においてアヤムネスジタマムシ *Chrysodema lewisii* E. Saunders, 1873 を採集しているため、同島初記録としてここに報告する。

1♀, 鹿児島県大島郡瀬戸内町与路(集落〜ヘリポート), 2. XII. 2016, 吉武採集・保管(図1)。

本個体はヘリポートへ向かう舗装道路上を歩行していたものである。

アヤムネスジタマムシは紀伊半島から琉球列島、台湾までの広範囲に分布し、日本国内では4月〜8月にかけて成虫が発生することが知られている(大桃・福富, 2013; 乙部ら, 2015; 稲田, 2016; 酒井, 2016)。今回のような本種の冬季採



図1. 与路島産アヤムネスジタマムシ

集例を筆者らは他に知らない。

引用文献

- 稲田悟司, 2016. 伊平屋島・粟国島(沖縄県)におけるタマムシ類の記録. 月刊むし, (550): 8.
乙部 宏・蟹江 昇・関 章弘, 2015. 三重県でアヤムネスジタマムシを採集. 月刊むし, (537): 59.
大桃定洋・福富宏和, 2013. 日本産タマムシ大図鑑. 206 pp. むし社, 東京.
酒井 舜, 2016. 伊平屋島および野甫島におけるタマムシ科甲虫の記録. 月刊むし, (550): 9.

(瑤寺 裕 243-0034 厚木市船子 1737 東京農業大学昆虫学研究室)

(吉武 啓 305-8604 つくば市観音台 3-1-3 (国研) 農研機構・農業環境変動研究センター)